岩手県立生涯学習推進センター
研修実施報告 Web版

実 施 日：10 月 30 日（金）
実施場所：岩手県立生涯学習推進センター
受講者数：22 名
市町村参加率：27.3%

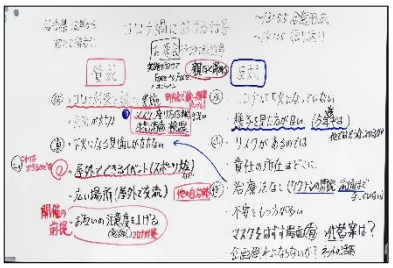
社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座

職　員　研　修
有志指導者研修
要　請　研　修

住民総参加型の地域づくりについて、また、話し合いによる合意形成の手法について学ぶことを目的とし、研修会を開催しました。生涯学習・社会教育関係者、地域づくり関係職員等 22 名が参加し、講義と演習をとおして合意形成の意義やファシリテーションの技術を学びました。

◆合意形成：「自分たちで考えた・決めた」と思えるように

話し合いによる合意形成



論点を整理する（ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ活用）

岩手大学 研究支援・産学連携センター 復興・地域創生ユニット 特任助教の船戸義和先生から、「住民総参加型の地域づくり」と題してご講義いただきました。震災後、コミュニティー形成支援を数多く行ってきた先生からは、「住民総参加型」「話し合い文化の基礎づくり」「主体性を重視した価値観づくり」を支援する上で大切にしていることや、参加者が「自分たちで考えた・決めた」と思えるような話し合いが重要とのお話をいただきました。その後さらに、特定非営利活動法人 いわて連携復興センター 地域コーディネーターの酒井菜穂子氏・瀬川加織氏を講師として迎え、「話し合いによる合意形成」について演習を行いました。各グループに１名の講師がつき、合意形成を得るためのファシリテーション技術を丁寧に教えていただきました。実践形式の演習では「場づくり」「意見を引き出す」「論点を整理する」「まとめる」等、ファシリテーションの大切なポイントや細かいテクニックなど様々なアドバイスがありました。

受講者からは「地域づくり実践に直結した有意義な研修会だった」「ファシリテーターの重要性と合意形成の留意点について大変参考になった」といった感想が寄せられました。

船 戸　義 和　氏

酒 井　菜穂子　氏

瀬 川　加 織　氏

《受講者の声》

- 人とかかわる、巻き込むことのよさを改めて実感させていただいた。
- 実際の現場でファシリテーションを行うことがなく、ほとんど決まった内容で合意を得ることが多いので、こういった話し合いをしていきたい。
- 演習が多くてとても勉強になった。ファシリテーションをしたことがなかったので、経験できて良かった。
- 今後の様々な研修や講義等で活用できそうな内容だった。業務に活かしていきたい。

《受講者の評価》

Ａ（有意義）	１００％
Ｂ（どちらかといえば有意義）	０％
Ｃ（あまり有意義でない）	０％
Ｄ（有意義でない）	０％

《担当者（平澤）から》

総参加型の合意形成を得るため、ファシリテーション技術の習得はとても意義があると感じました。次年度以降企画した際には、より多くの関係者に学んでいただきたいと思いました。